明治四十三年七月二十四日（日曜日） 第四百六十四號 （一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年
本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月[illegible]▲三ヶ月前金[illegible]▲六ヶ月[illegible]金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人 高木久馬太
印刷人 松久神一郎
發行所 京城新報社 京城西署西小門通（電話六六三）

雜錄

漢城より

北韓山生

▲吾等の散度忍へたるも、南大門より停[illegible]の件は、當局者[illegible]の道筋に當れる家所家屋の所有主等[illegible]の爲めに、無期延期となりたるやに及聞候。

▲南には永樂町二丁目の道路取擴げに[illegible]其の街角に當れる地所、家屋の所有主たる古江某、法外の代價を稱へて當局を梃摺らせ、遂に件の一戸のみ其まゝに差措て少く除類無くせしめたるあり、吾等は[illegible]他の所有權を侵害せざるに非ず。[illegible]亦譲らざる能はざるべし、然れども、事若し天下公衆の爲めにするに當りて、一私人の不當なる利慾の爲めに抂げざるべからずとせば、國權の社會に及ぼす力は實に顧み少なきものにあらずや、韓國に於ける日本人の土地收用法備はらざる[illegible]、何ぞ速に[illegible]未だ同法を制定する能はざる理由あらば、權りに本國の土地收用法を擬するも可なり、否らざれば他に之れに代るべき規定を設くるも亦何の不可かあらん、今の場合吾等は理屈屋の杓子定規なんぞ聞く耳は持ち申さず候、隨分と無理も徹し、思ひ切りたる權變も萬更無いでも無い官憲の、此の事にのみ處女の如く振舞ふは抑も何の意なるやを知るに苦しみ候。

▲去十六日、西那須野に於て氣球を昇騰せしめ、豫期以上の好成績を得たる由、吾等は吾等にして立たざるべからず、故に吾等は我氣球隊の得たる成績を以て歐米のそれと比較するを須ゐず否比較するの要は即ち之れ有り、然れども[illegible]の時に於てするの要無き也、唯飛行機が汽車、汽船に代らんとする時に於て之れを爲さんのみ、吾等は其時の甚だ近からずして而かも甚だ遠からざるを思ふものから、我邦人の飛行機に對して少しく深き注意を致さんことを今にして希望し置くものに有之候、曾ては內部に主事たりし人の飛行機の發明に苦心したるがありしか、志だにあらば世智辛き日本內地に於てよりも米薬の價低き韓國に在る者は、確かに多くの時間を此の業に割くを得べし、但し其人の在りや無しやは疑問以上に候、

▲東京に電車の衝突ありて多數の死傷者を出す、吾等少々ビクつかざるを得ず候、[illegible]京城電氣株式會社は彼の椿事に鑑みて、熟練したる正直なる强壯なる運轉士と車掌とを使用し、車體及機械は絶へず、少なくも日に一度技師をして檢査せしめ、乘客をして安心して乘車せしむるを要す、然すれば宏量なる乘客は少し位の雨漏りなんぞは、マヅ〳〵我慢する筈也（廿一日）

簡易なる砂防法

（某土木技師の談）

治道と治水とは猶車の兩輪の如く治道の下必ずや治水之に伴はざるべからず殊に韓國の如く山岳に蓋被なき地に於ては一層其必要を感ずるなり既に昨年の雨期に於ても砂土崩潰若しくは河川氾濫の爲め安州方面の新道路は非常の被害ありしも幸に他方面には差したる損害を受けざりき併し本年の雨量は昨年に比し頗る多く殆ど全道に亘り水害の報を傳へざるはなし従ふて各地道路の被害も蓋し鮮少ならざらん河水の氾濫に因る損害は今如何とも仕難きも高處より放瀉する被害は極て簡易なる法によりて大に緩和するを得べし此法は最近の新案にして歐米各國に於ても未だ汎く行はるゝに至らざるも佛國は近時孜りに之を奨勵せりと聞く其法さは赭山或は芝山の周圍に深さ約一尺內外の溝を水平線に平行せしめたるものを廟納の如く無數山腹に繞らし而して掘上げたる砂土は直に小溝の反側に積立て之に芝を被ふにあり此法や極て簡易にして特殊なる技術家の手を要せず然して效果は頗る大なり第一急傾斜を放降する雨水を大に緩和する事第二涵水く素地をなす第三植林上至大の便を得る事等の他工費の如きも極て小額にて事足れり夫の城內北面一帶に亘る砂防工事の如きは極て善良の法たるは言を俟たざれども經費等莫大にして汎く應用出來難きの憾みあり韓國の今日に於て以上便法を施くは道路保護の他涵水植林上至大の効果あるべきを信ずと云々

●忠淸北道の社還米

社還米は元來儲蓄軍糧にして其後備荒儲蓄の性質を帶ふるに至り頃日は又種籾に流用せらるゝことゝあり而に社倉なるものありて人民は規定の量を此社倉に共同儲蓄し來りしが今や社倉多くは敗頽し社倉の敗頽と共に社倉米は只計數のみ存するに至りしもの多く或は已に暴徒に奪はれたり燒かれたりと稱して沒却せるあり現下面長洞長等の保管に屬し居る數量は左表の如し

淸州	五四一、〇二六石
懷仁	三〇三、一四一
沃川	九八、〇七八
永同	三九〇、〇四四
黃澗	三八二、〇一八
靑山	四一一、〇九五
報恩	三二四、〇二一
鎭川	九〇、一三五
文義	三六三、一三八
陰城	六四一、〇四八
忠州	五八九、〇〇九
槐山	四一八、〇六八
延豊	三八六、〇八一
丹陽	三、一二五
永春	一五六、〇六〇
淸安	二九二、一〇五
計	五、三九二、一九二

●江陵郡附近の旱魃

江原道江陵警察署長より報告に依れば江陵郡江陵附近は本午二月二十二、二十三の兩日及び六月三日に露塵程の少雨ありしのみなるより農民一般に焦慮し兇年を懼想して舊習の雨乞祭をなし郡守又雨乞祭を執行して只管慰民の手段を執りつゝあるも降雨せしめざるより其肉を食む云々の韓諺文書きの貼紙をなしたる惡戲痴漢あり又兇年なれば盗食するより途なし抔の惡聲を放ちたる者あり其他江陵郡私立認可東進學校に於ては六月三日より生徒一般に晝食を廢し同郡新里面長許達は六月三日面內里長を召集し一般夜食に粥を用ゆることゝ協議實行したり

▲捕鯨根據地長箭浦

捕鯨根據地として名を知られたる江原道長箭洞は春秋鯨獵期に於てのみ漁夫對手に二三飲食店雜小賣雜貨店の開業を見るに過ぎざりしが一昨年末韓政府保護の下に瀛船の定期航海開始以來大に長箭浦一帶の發展を促進し従前は日本人の常住僅かに一戸なりしが現今にては十九戸七十一名を算し尚は滯在旅客も常に十數名を下らざるに至れり此地方は開墾は殆ど見込なき者とも顧るものなかりしが前年元山の某日人は二百町歩の荒蕪地を求め開墾したりしに結果良好なりしより漸々小作者の移住を見るに至れり尚有志の發意にて本年三月日韓協和衛生組合を設立せる他日韓消防組合日語學校設立に奔走中なりと

地方通信

▲平壤通信

▲平南線工事 平南線敷設工事は着々進捗し居りて既に平壤を基點に鎭南浦へ向け二十二三哩の程は材料運搬用機關車附列車の運轉を爲しつゝあるが一般土工及レールの引延ばし其他橋梁の架設等は本日迄には全部竣工せしむべき豫定なりし一昨日來の降雨其他の事情の爲め多少工事上に障害を受くる所ありたれば自然多少の日數を延期するに至るべしと云ふ

▲作蠶業と淸韓人 平北觀察道にては作蠶業の有望なるを認め本年農商工部地方費を投じて義州水鎭面國祀洞東谷の私有林を借受け解化を試みたるに農商工部及び水原模範場より種繭の配布を受け農商工部の分は品質不良の爲め全然死滅[illegible]原模範場のものを飼養せしに稍々良好なる成績を得たるを以て更に淸國寛甸縣より種繭を求め之と合せて蠶兒二十三万餘を孵化し約三丁歩の櫟林に放養せしに成績頗る良好なりしより俄然地方の作蠶熱を誘起したるも韓人の惰性なる自ら之に從事せんとせず淸人を誘ひ來りて飼養せしめ彼等は櫟材を貸付して其料金を貪るのみに甘んじ居るの狀態にあるを以て數百人の淸人該地方に移住し來るの奇觀を呈せり而して一方淸國にては近來柞蠶に課税せる爲め好機措くべからずと益々移住し來るの有様なれば同道にては嚴重に韓人の不心得を戒め且つ希望者には無代にて種繭を配與し又奬勵の方法として褒賞を與ふる等の制度を定め十二日有志を集めて種繭を配付せりと

▲警務部の移轉 平南觀察道警務部は是まで平壤警察署樓上にれいて執務し居たりしが事務統一の都合上二十日午後平壤憲兵隊に移轉したり

●新刊紹介

▲貿易（七四號） 例に依り名士の演説が卷頭を飾つて居る東亞、西歐、南北米と貿易の現狀が記されてあることも例の通りである（東京々橋宗十郎町七同社發行二十錢）

▲實業之世界（七卷十四號七月十五日發行東京芝區三島町二同社十二錢）

▲數學俱樂部（一卷十一號七月十三日發行東京神田北神保町一三帝國數學會 三錢五厘）

講談

大岡政談 越後傳吉 第二十九回

旭堂南陵講

仙「宜しうございます、貴下に助けて頂きましたれせん、御恩報じに乾度お助け申しますから斯ういふ工合にして下さいませ、彼人が湯から上つて來ますと貴下も湯にお入りになりますか 傳「ハア 仙「その湯に入ときに斯いつて胴卷を持つてお入りなさい 傳「ハア 仙「で妾は風呂へ先きに行て、その胴卷の中の金子を掏替て置きますから、さうして彼奴に掏替へたものを持して行くといふ一番計略の裏を掻てやりますから其の積りで、何しろ彼奴は鬼といはれた筑波新八でございますから、油斷は出來きません宜うございますか 傳「有難うございます、れ前さまのお蔭で私等助けて貰へまして、有難うございます」傳吉は餘つのことに一時は驚いたが、れせんの一言に依つて聊か安心、そのうちに足音がしたから、れせんはパッと次の室に行つてしまひました 新「エ、旦那、好い心持でございますよ、何が好い心持だといつてモウ道中で波々た時湯に入つたのは實に何ともいへません 傳「ハア左樣でございます」れせんにいはれてゐるから傳吉が見ると成程どうも筑波新八の顏が鬼のやうに見ゐる何だか眼の珠がギヨロツとして物凄い樣子 傳「ア、成程、これは旅倫盗に違ひないわい氣味の惡い顏」と思ひて 傳「私等も一寸湯に入つて參ります 新「旦那、湯に入つて御覧なさい好い心持でございます」クル〳〵と赤裸になつた傳吉 新「旦那さん、れ金の入つた胴卷を……」 傳「ハイ、これは私等が懸命の金子でございます、金子といふものは肌を離せないものでございますから、このまゝ風呂場へ持て行きます 新「風呂場へ胴卷を持てれ入りになりますか 傳「ナーニ、れ前さま持て入らねえが風呂場には棚がございます 新「若しなかつたら……」 傳「なかつたらこの胴卷で鉢卷をして入ります 新「ア、成ほど、イヤ金を持ちへるれ方は違つたものだ、乃公等のやうに年中貧乏して居る者は金子を粗末にしていかねね旦那、好いことを見せて貰ひました、これからはこの新八も些と金子を大切にしませう、金子といふものは肌身を離すものでない、成ほどうのくらゐ大切にしないと大金は蓄りません、好いことを教へて貰ひました有難う存じます」傳吉三百兩の入つた胴卷を提げて湯に行くと、風呂場には約束通りれせんがちやんと待て居りました 仙「サア旦那どん此方へでざらつしやい」傳吉の手を把つて裏から密と連れ込んだのが當家の主人中村屋與兵衛の居室 與「ア、これは何うも……サア旦那どん此方へ……」年頃は四十三歳色の淺黑いデツプリと小肥りに肥つた、何となしに一癖ありさうな主人だが、この人は苦勞に苦勞をし拔いた俗にいふ苦勞人といつたやうな人です言葉も穩かに 與「サア旦那どん、エい初めてお目に掛ります、私が中村屋與兵衛でございます、れせんの親の源五郎は私の兄でございます、姪なり叔父なりといふ間柄、イヤもう兄の源五郎にはいらい厄介を掛けました、散々私も道樂をしましたが今ぢやアもう身も治りまして何うか斯うか一軒の家臺骨を控へるやうになりました、またれせんは種々御厄介になりましたさうで有難う私よりれ禮を申しますさて承はりやア筑波新八に貴下が尾けられなすつたといふ、彼奴は旅倫盜の張本でございます、彼奴が私の方へ貴郎を連れ込んだのが運の盡き、中村屋與兵衛は旅籠屋仲間で閻魔といふ綽名を取て居ります、どんな盜倫盜が泊りましてもチラと私が一眼見れば浄玻璃の鏡に照した同樣、閻魔の眼に見損ないはないと自分のことを言ふやうでございますが世間がいつて居ります、別けてれせんが貴下に難儀を助けて貰つたのでございますから、何うか御安心なすつて下さいませ、筑波新八もこの閻魔さんの前で仕事をしやうといふのは飛んでもない奴でハ、、、」成ほどこれには片ツ方の新八も鬼か知らないが閻魔さんにやア適はない。

京城新報

軍人たる寺內統監の着任

余聲 希望の現實

待ちに待つた寺內統監が海陸の旅程を了つて入城された、余聲は衷心から將軍の安着を祝する。

顧れば我寺內子爵は故伊藤公に繼いて統監たるべき筈であつた、而かも天意は何れにあつたか、亦た我政府は何の見る處ろがあつたか子爵は伊藤公の相續者たらずして曾禰子が相續者となつた、曾禰子の統監振り、今日に於てコレを許する餘りに可哀相だ、只一言にして盡せば子が在任中の三百六十日間は半島は實に暗黑の狀態に在つた。

余聲は平素メリタリズムの流行を以て國家の爲に得策若しくは幸福なりと信せぬ、否な寧ろ其流行が往々にして國家の向上を阻害し、國民の幸福を減却するものなることを信ずる、然るにしかくメリタリズムの流行を恐るゝ余聲が曩に伊藤統監の辭任に際して軍人統監の出現を望んだ、ソウして寺內將軍が其人たらんことを望んだ、思ふに寺內將軍の出現、之れ一種メリタリズムの流行と解すべきものだ、而かも余聲は自家撞着の如き言を敢てして憚らなかつた、之れ何に因つて然るか。

言ふまでもなく文官統監は主義に於ては歡迎すべきものだ、若しも半島にして無事太平一の暴徒なく、一の火賊なく、十三道の居住交通にして安全ならんか、產業政策の遂行、地方行政の改善蓋し易々たるべしだ、併し不幸にして統監政治開始以來京城を除くの外は新政の爲めに悉く敵地となつた、官吏商人其他の者の居住旅行は危險となつた、此間に於て邦人韓人の賊手に斃れたるものが中々多く、斯る危險なる狀態に於ては產業政策の遂行も地方行政の改善も到底出來べき筈なく、何人が考へてもまづ其れよりは地方の治安秩序保持が先決問題となつた。

而るに從來文官統監に兵馬の權を握らした結果はドウか、故伊藤公及び曾禰子共に暴徒をば隨分頭痛に病んだ、さりとて暴徒を如何にして全滅するかの策を講じたことがらなく、故に此二人者の時代に在つては暴徒は太平樂を謡ひつゝ統監政治を呪咀することに勉め、剰へ在京城の韓政治家等は何事にまれ統監府より新令出でんとするときには斯る令出でなば必ずや新暴徒蜂起すべしと唱し、暴徒蜂起を理由として新令の出ずるを喰留めんとし而かも此喰留策が屢成効したことがあつた、當時我軍隊の嚴然として在つたことは素よりの事だ、併し兵馬の權は文官統監の手に在つた、故に我軍人が如何に齒痒く思ふとも手の附け樣がなかつた。伊藤公の失敗曾禰子の失敗素より他に原因がないではないが其重なるものは暴徒の始末を誤つたこと、暴徒の起るを餘りに懸念した事とであつた、換言すれば十三道の治安秩序保持に餘りに無能な事であつた、余聲不肖と雖も產業政策の遂行、地方行政の改善、而り進んで半島開發の大局より算して文官統監の措置の餘に不甲斐なきを齒痒く思つた一人であつた、之れ余聲が伊藤公の辭任に際し軍人統監の出現を望み、同時に寺內將軍の統監たらんことを望んだ所以であつた。前にも述べた如く余聲はメリタリズムの流行を歡ぶものではない、併し今の時に於ては如何にせん半島の事之を舉げて軍人統監に托する外に手段はない。寺內統監來る、將軍の出現は恰も旭日の如く半島の暗黑を破つた、只此上は上陛下の聖旨に答ふる事と下半島日韓民に光明を與ふることだ、余聲何を以てか將軍に是以上を望まんやだ。

伯林電報

▲獨帝墺國訪問　獨逸皇帝は九月三十日墺國皇帝訪問の爲めメルボルンに到着せられ又帝は其の前フリードリッヒ太公の賓客として狩獵の爲め匈牙利に滯在せらるゝ筈なり（廿三日）

▲希臘借欵成立　希臘國は佛國に於て四十萬ドラフの借入約束を結びたり（同上）

▲白帝即位披露　白耳義皇帝及皇后は即位披露の爲め來る十月上旬公式を以て墺國皇室を訪問すべし（同上）

東京電報

▲商務官人選難　新設商務官は實業家より選任せんとするも其の人を得ず頗ぶる當惑の模樣なり（廿三日）

▲貯蓄銀行計劃　東京、大阪の實業家は韓國に貯蓄銀行を設立し資本金一百萬圓、本店を京城に支店を仁川、釜山、木浦等に置くべく目論見中（同上）

▲曾禰子爵の危篤　曾禰子爵は昨今の酷暑にて非常に衰弱し容体頗る危篤なりと（同上）

▲大博と和田總長　政府は明治五十年開催の大博覽會準備の爲め滯英中の和田總長以下三名に伊獨白の三國へ出張を命せり（同上）

雜報

統監入京の光景

▲沿道の光景　統監邸より本町を經て南大門停車場に到る街路には日韓の老幼男女堵の如く列を成し通過時刻を今[illegible]なからしむ狀頗る滑稽に近き程なり

▲停車場內外　午驛前に到るや歡迎の內外紳士淑女無慮數千名を算せられプラットホームには左側に日韓武官次ぎに日韓文官整列し右側には日韓人各團体代表者次ぎに新聞記者通信員次ぎに外交團次ぎを婦人連として何くまで陸軍式に配列せしめぬ

▲特別列車着　今か〳〵と待ち構へつゝあるや遙か前線に特別列車は機關車に日章旗を交叉し汽聲一聲赤旗の動くと共に徐々進み來る兩側に整列せる歡迎者は一齊に敬意を表して脫帽の禮を爲しぬ

▲統監の降車　寺內統監は一瀨南大門驛長に導かれて降車し兩側へ渡し階段を昇降しつゝ前側のプラットホームに出で歡迎團体代表者を一瞥して外交團前に到りぬ小松外務部長一々之を紹介して其通譯により懇懃なる握手の禮を洩れなく施こし夫より永宣君李峻鎔邸下に迎へられて貴賓室に入り驛長の進めたる椅子に腰を卸さんともせず直ちに馬車を命じて之に搭じ石井少將外波大佐の兩武官陪乘し前後を騎兵憲兵に護衛せられつゝ仁川迄出迎の石塚參與官有吉總務長官以下を隨がへ意氣揚々として統監邸に入りぬ

▲出迎の人々　は日韓各官衙の高等官二百餘名殊に韓政府各部の如き總員總出の有樣なれば政務も此日は休止同樣なり外に外國領事團宣教師居留民の重立つもの新聞記者等構內外に犇々たり

かく〳〵と待受けて[illegible]大將の凱旋を迎へたる當時の東京市街を見るが如く如何に寺內統監の來任に期待する處多大なるか知るべきなり

▲警戒の嚴重　當局者が寺內統監の着任に際し萬一の變あらんを恐れ到着前後の警戒は既報の如くにして其嚴重なる斯くまでとの感あらしめたり而して警備の大略は龜井大尉警務部長の資格を以て憲兵二分隊を指揮し停車場構內は第二分隊長村田中尉市街一部は第一分隊長大橋大尉之に當り外に警務總監部は各署の警部以下巡查巡查補を繰出して殆んど蟻も漏らさぬ程の注意周到を極めぬ是では如何に不逞の徒も徘徊し得べき道理なし更に軍司令部よりは步兵五箇中隊に出動を命じ大島六十五聯隊長之を指揮し沿道に整列せしめ銃劍を捧げて嚴然たり又之に親衛隊よりば殆んど其全部を繰出し其壯觀言はんばかりなり又沿道には五步に一人宛の憲兵巡查を配置し特に辻街路の入口には二名宛の憲兵巡查を配置し油斷も隙も

統監寺內子爵

統監着仁の光景

新統監寺內子爵並に隨員外波大佐、津野少佐、小松參與官以下を乘せたる第一艦隊八雲は護衛艦淀の入港に後るゝ一時間餘にして午前九時仁川に入港す之より先き國分參與官、仁川理事官代理橋本副理事官、宮木稅關長、藥師川憲兵中佐、宮館警視、岩崎民長は何れもランチにて八雲迄出迎へ斯くて午前十時八雲淀の兩艦より打つ十九發の禮砲と共に寺內統監一行は仁川稅關所屬ランチ第一宮丸に移乘したり尙陸上には民團より十數發の煙火を打ち揚げ歡

皇の勅使尹德榮、太皇帝の御使金春熙、趙農相、高度相、閔宮相、朴內相日本人側よりは石塚、倉富兩參與官、明石、榊原兩少將、宇佐川中將、藤田軍醫監、梅博士、俵次官、池田通信管理局長、今村、中山、入江各書記官何れも棧橋にて一行の上陸を待てり、斯くて十時三十分統監は棧橋より上陸し勅使以下に挨拶しそれより上陸鐵伏兵の檢閱を爲し尙ほ整列せる小學校生徒に對しては禮を述べ暑さに付着帽す可く注意しそれより馬車にて仁川驛に向ふ此處には山縣副統監を初め有吉總務長官在仁各國領事其他重なる官民三百餘名プラットホームに整列迎送せり而して統監は午前十一時發特別列車にて京城に向ひたり、海岸より停車場迄は仁川守備隊、警官を以て警戒したるが海上の警戒は頗る嚴重を極めたり因に島村司令官兩艦長等は停車場迄統監を見送り直ちに歸艦したり

寺內統監の參內

統監は二十四日は官邸に休養し二十五日若くは二十六日參內すべしと

●航海中の寺內統監　下關出發後の天候は兎角陰翳勝なりしも海上は極めて靜穩にして一望油の如く二十一日は乘組の八雲艦非番水兵を集めて柔道擊劍體操等の餘興あり二十二日は午前中艦長の命令にて開戰準備の模樣を巨細一覽に供し更に軍艦に關する說明あり午後は六時より護衛艦と相聯して射擊演習を爲しつゝ進航し頗る愉快なる航海を遂げたりと

●統監官邸の午餐會　寺內統監は二十三日午後一時より山縣副統監、有吉總務長官、石塚、國分、小松の各參與官、明石司令官等と統監邸にて午餐を共にせり

●統監府特許局移轉　統監府特許局廳舍は七月二十五日より當分の內京城永樂町二丁目元赤門內へ移轉する由なり

●國有地調査終了期　昨年七月より着手したる國有地の調査は來る八月中に完成の筈なり

●關稅局の計算器　關稅局にては今般貿易統計用の爲め獨逸より計算器を輸入したるが其代價二百五十餘圓にて今後は此器械に依り數字を計算する筈なれば頗る便利なるべく日本にては內閣統計局に於て使用し居たる由にて甚だ調法の器械なりと

●太田の日語學校　湖南線開通と共に其分岐點たる大田は非常の發展を爲すべきは人の豫測する所なるが同地の有志者は益日韓人親交を計る必要ありとなし其方法として日語學校を設立の計畫を立て目下準備中なり

●太田居留民總代　太田居留民總代工藤勇次氏任期滿了に付き本月二十日改選の結果渡邊寬次氏當選就任せり

●荒井次官の歸任　荒井度支部次官は久しく東上中なりしが廿四日歸任す

統監夫人の入京

寺內統監夫人は令孃と共に二十二日夜入京したるが一行は兒玉書記官、菅野中佐等にて別項記載の如く韓皇后は御名代趙奉保夫人並尙宮高昌宮殿妃名代徐尙宮並に愛國婦人員六十余名大久保軍司令官、有吉等の各參與官宇佐川總裁同夫人其他貴紳の出迎を受け統監邸に入りたり

輸出牛減少の原因

（原島畜產課長の談）

韓國生牛の輸出は近く數年前の創始に係かり爾來其聲價次第に高まり年々稀數の速度を以て其額を激增し今や韓國輸出貿易上米大豆に次ぐの重要品たる位置を占むるに到れり而して其需要先は主として日本內地にして當初は九州中國四國等の一部に過ぎざりしが漸次分布區域も擴大して現今にては既に函嶺を越へ遠く群馬栃木の各縣にまで普及せしむるを見るの盛況を極めたり是より先農商工部は生牛輸出の前途大に多望なるを看取し鋭意獎勵の方法を講ずると共に一方には釜山に輸出牛檢疫所を設けて日本政府との連絡を保ち毫も遺憾なきを期し其後の成績大に見るべきものありしが俄然去る四月頃より一頓挫を來し昨今の輸出高は最も多かりし時に比し其半數だにも達せざる不振を示めせり今其原因を探究するに左の諸點に歸するを見る則ち

一、從來韓國を愛用せる主なる土地は九州四國中國の各地方にして如上の地方は數年の經驗により韓國牛の溫順にして力量飽くまで逞ましきを知り一般農耕用として最も好適するを認めたりしが偶々東京以西名古屋の各縣に於て盛んに牛疫の流行を極め其結果一時は牛疫の根原韓國にあるが如く傳說せられ之が爲めに韓國牛を輸出すれば直ちに牛疫を隨伴する如く恐怖せしめたり

二、以上の關係より韓牛の價格頓みに下落し又當時の聲價を保つ能はずして之を日本に輸入するも到底損益相償ひ難きより日本牛商の仕入に渡韓するもの絕無なるに到れり

三、更に又韓牛に就て經驗を有せざる地方は牛疫伴隨に就ては格別の注意を拂はざるも未だ實際的特質を知悉せざる爲め一犬虛を傳へて萬犬之に從ふ如く遂に使用を躊躇し唯だ安價なれば之を試みん位の有樣となり折角普及の趨勢を頓挫せしめたり

四、日本は日露戰役後產牛の獎勵各縣に行はれ產牛熱著しく勃興し其結果自縣に需給相足り必ずしも外國に輸入を仰ぐの必要なきに到れり而して此際安價の韓牛を輸入すれば折角發達の緒に就ける產牛行政を妨害すべしとて反對の聲到る處に續出せり

五、尙ほ過去に於ける牛疫は多く韓國の輸入に在りとて斯かる危險牛は絕對に之を拒まざるべからずとは擠乳業者の聲にして其叫聲は絕大無限の勢力を以て一般の腦裏に刻み込まれたり

六、且つ日本に於ける牛價下落の深因は如上產牛熱振興の結果にして當時外國より良好なる種牛を數多輸入し今や牛の頭數は非常の增加を示めし其供給は需要と併行せず隨つて韓牛を輸入するも日本牛と競爭し能はざるの低價を極めたり則ち日本現在の牛況は安價なる韓牛も尙ほ之に及ばざるの實況なり

其他一般經濟界の沈滯と米價下落の爲め農民の購買力を減耗し隨て農用牛の販路を縮少したるもの亦是れ一大原因なるが要するに如上の原因は韓牛の特質美點尙ほ汎く知悉せられざるより所謂喰はず嫌いの結果と一は又韓牛を輸入すれば必ず牛疫を隨伴輸入するが如く一種の誤解を招きたる爲めにして此際此誤解を解き其特質を紹介するは韓國牛獎勵の爲めのみならず日韓貿易上の最緊要事たらずんばあらず云々

●小學校長會議日程　既報の如く在韓小學校長會議は廿三日午前九時より南大門小學校に於て開會す統監府よりは廣田囑托理事廳より渡邊弓削兩屬出席し在韓小學校長三十三名出席先づ橫山幹事より會務の報告あり次に廣田囑托の訓示あり午前十一時半より統監を出迎へ午後再び開會した り尙は同會議の日程は左の如し

▲第一日　席次決定▲問題配付▲庶務會計の報告▲議事▲委員會

▲第二日　委員報告▲議事▲隈本中學校長講話▲寫眞撮影後秘園參觀

▲第三日　議事▲山根囑托講話

●近衛公滿洲に向ふ　滯京中なりし近衛公爵は二十二日午前九時十分南大門驛發列車にて滿洲に向け出發せり

●日韓瓦斯の發電所　龍山に建築中なる日韓瓦斯電氣會社の發電所は來八月中には竣成すると

公人私人

▲本田幸介（水原模範場長）廿二日入京▲靑柳四郎（揚州區裁判所判事）同山本▲水口隆三（平壤財務監督局事務官）同不知火へ▲池田嘉吉（韓銀大邱支店支配人）入京中の所二十二日大邱へ▲藤原俊雄（藤原商會主）廿三日入京天眞樓投宿

▲京城手形交換高▼

七月	金高	枚數
廿三日	四三、一四二、五〇	一三三

▲治外法權▼

半島が保護國になつて統監と云ふ者が出來てから、ツイゾ一回も統監の出迎と云ふことをしたことのない記者は今度始めて寺內統監を南大門驛に迎へてみた▲名にしれふ大師匠の統監だから、反身になつて威風堂々邊りを拂ふことだろうと思つた、トコロが案に相違、謹厚なる人の常として出迎への日韓人に丁寧に會釋せられ、特に各國領事及び宣教師の人々へは一々握手の禮を施こされた▲記者は外人間のスグ隣りに居た爲め、彼等の統監一口評を耳にすることが出來た、領事等曰く寺內將軍は精力主義の人の樣だ、宣教師等曰く統監は深き信念を有する人の樣だ、而して一齊に曰くあの柔和らしき眼の良く動くを見よと▲參與官の小松は東京からヅウト寺內に附いて來た、彼が白服姿で汽車から降りたところは海軍に居らるゝドノ宮樣かに似て居る樣に見ゑた、小松夫人は胸中で萬歲を唱へた▲仁川から統監の爲に出した臨時列車は乘車人を制限した、榊原參謀長でさい乘車許可證を持たなかつた爲めにあやふく乘り外づれるところであつた▲半島の貨幣整理は目賀田が着手以來度支部の盡力を以て漸く完成に達した、併し貨幣の整理は出來ても貨幣以上の人間の整理はまだ附いて居らぬ▲見玉へ現在に於て僞造白銅貨とも見るべき只形ばかりで質は惡るく、溶解所へ持つて行つて切斷せねばならぬ樣な人物が幾らもゴマカシで通用されて居るではないか▲財產なく學識なく殊に己れの分を忘れて夢を見て居る連中等は今後の社會に有害な分子だ、新着統監は秩序保持の爲に斯る有害な僞造白銅貨的人物を溶解所に怒るべしだ。

長春電報

●振替貯金納税便法

開きたり之が爲め七十二箇所の取扱所

一、郵便振替貯金口座は韓國第三百三十番にして中央金庫への拂込となる

一、前項の拂込用紙に納稅金額年度稅目等を記入し現金と共に郵便局所に

一、振替貯金拂込に要する料金は一厘も要せず

人出發通過の際何れも停車場に整列歡

し韓后名代趙尹保夫人金貞宮、高昌宮

廓清を要する財務署

▽一葉落ちて天下の秋を知る ▽全道財務署の表紙は極點に達せり而して此れ實に漢城財務署の表紙[illegible]のにあらず全道財務署の**不檢束**を意味するものなり醜吏は自己の失態を蔽はん爲め官金を遺失したりと稱し**下宿料を踏倒**して遠く日本に逃れ去るもの[illegible]自己の不行届を責められんことを[illegible]して**官金を詐取**し自己及び部下の悪事を[illegible]せんとし**監督官廳**は之を耳にしながら**風馬牛**を極め込む、と云はゞ何を以て監督官廳が之れを知り[illegible]官廳の耳に入らざるの理なければなり

食逃げ官吏 北村悌三(主事)に[illegible]の行爲の[illegible]如く署長の言動の不信切なる[illegible]富士館主は同日(二十日)[illegible]を添付し西部署に**告訴を提出**[illegible]類一見にも及ばず「**此れは不可**[illegible]たるに之れを受取りたる警官は[illegible]る受付を拒みたる態度を[illegible]結果漸く受付けたる[illegible]務署は富士館主の[illegible]に向ひ總務訴を受理するなからん[illegible]を電話したるものと見做すべし**不埒**[illegible]は茲に於て**行き止まり**、[illegible]

(前略)昨日特に御謝し申上候 **疑**[illegible]る**本件に關係あるもの**〜如[illegible]人の手になりしやを詳にせず[illegible]が某所に於て得たる下の**反古**は何[illegible]

問中なりし**稅額**四、〇〇〇[illegible]三〇〇中三〇〇〇以小生所持[illegible]のに付最密なる解釋の下には是非收入官吏に引繼ぎざるべからず[illegible]ぬたに自己の責任を免れんが爲に[illegible]

[illegible]自己の**梅の家一件**は棚に上げ[illegible]とする卑劣漢も有[illegible]すべきものあり[illegible]御取計ひ被下度[illegible]自己の潔白を裝はんとして他人の梅の家一件なるものを素破拔ける邊り面白し

[illegible]大先生に於て盛んに御調査中[illegible]り目下 **椎谷**[illegible]れ又御査收被下度[illegible]延滯坊酒造臺帳一[illegible]發れんが爲め誤記[illegible]申上候尤も「百圓[illegible]との**長の蠻的命令**もあり周章[illegible]際とて或は一二紛失[illegible]しも非ず而かも辨明[illegible]箇有し居り候條不可[illegible]部は直に小生に御尋[illegible]小生は囑托解除後尚[illegible]**署**

鼻紙の領收證を與ふるな[illegible]損せず候間此の儀什[illegible]下度候[illegible]を知り雖きも鼻紙領[illegible]

自答し署長が「百圓以上收入せざ[illegible]れを毆るものか小生[illegible]**内幕を自問**[illegible]**鼻紙領收證**を發行せぬと[illegible]**發行**したものありの[illegible]一葉落ちて天下の秋を

仁川持兇器窃盜

▽老婦人奇禍に罹る [illegible]頃仁川京町二丁目米[illegible]郎(三七)方に忍び入り[illegible]店頭に置きありし貴[illegible]る時しも安次郎と共[illegible]る同人**母もと**[illegible]たるより勝手知つた[illegible]**手燭**も**點**さず[illegible]き盜賊の忍まれ居る[illegible]裏口に近きたるに[illegible]の**戸口**が二三[illegible]あるより何うした事と[illegible]遍見回らんと踵を返[illegible]電の閃きて**前額**

現在の實母もとが前記の始末

[illegible]に紛れて**逃け去**りたり然るに一方**安次郎**は只ならぬ階下の**物音**に眠り覺まし何事やらんと駆け降りしが何とは知らず闇に蠢動くものあるより急ぎ洋燈に火を點じ見たるに

[illegible]**部へ切附**けられたり元より思ひも掛けざる出來事殊には老ひたる婦人の身のアツと叫んで**打ち倒**れたるに彼の曲者は起しもやらず**滅多斬**りに**斬り附**け何所ともなく

女振り

井上孝哉氏夫人　井上八重子

前佐賀縣知事現東洋拓殖會社理事年俸九千圓を占取めつゝある井上孝哉君は岐阜縣本巣郡廣田村の產である明治三年十月の出生、孔子の所謂四十にして惑はずと云ふ其の四十を一つ超して居る男として正に此れからの働き盛り部下に向つても當りの善い好紳士である、明治三十年伊藤琢治君やと同期の東大英法專攷科出身の法學士である、八重子夫人は明治十三年三月三日の生れで孝哉君とは同い年である、見掛けは頗る剛氣潤達の如くであるが實は小心翼々で正直な人に通有な氣の短い方で少々迷ひ易い點がある、女振り子の知人の妻に如何な場合でも値切らねば品物を買はぬ人がある、敢て客嗇と云ふではないので、でないと氣が濟まぬのだ、一例は過日灰吐き、煙草盆に入れる……を買ひに行つたら二錢だと云ふ、一錢にマケなさいと云ふ、マカラウ道理がないからマケない、殆んど七八軒も歩き回つたが何所でも二錢と云ふ、最後に一錢五厘にマケロと云つたがマケないので結局買はずに歸つた、夫人は此れ程ではないが如何に欲しい物でも少しなりと引いて貰はねば買い惡つた如な氣がすると云ふ質である、孝哉君の收入が多くて夫人の遣り口が是れだからモウ大分溜つたらうが他人の懐ちやア仕方がないね、千代子さんが十三歳助君が五つみゑ子さんが九つとよ子さんが四つ、御兩人ともれ若いのだから勤めて倦まずんば此の方も前途多望である

に腰も脫けん計りに驚き京町派出所に急報し本署に急使を派したるにぞ宿直の**警部**は時を移さず**醫員**を伴ひ**現場に出張**し應急手當を施し夜明けを待ちて佐藤病院に入院治療中なるも何分頭部に數箇所の重傷を蒙り更らに**左の手首は切り落**され居りて非常に衰弱し居れば或は**生命覺束**なからんと而して犯人は統監者仁の混雜に紛れ巧みに踪跡を晦ましたるもの〜如く未だ逮捕せられずと物騒千萬な事なり

年甲斐も無分別

▽内國新聞の紹介を望む

福岡縣遠賀郡太田町字榮町きくの妹竹内まさ(三〇)と云ふ女年甲斐もなく無分別に門司附近を彷徨き居れるを年の頃四十前後風采賤しからぬ男の甘き口車に乘せられ韓國に行けば水仕奉公しても月に十五圓や廿圓はされ定まりの棚にも乘地となつて今一人下の國の者とから牡丹餅的に說き付けられしを淺量稱する者と共に連れられ去る十六日朝聯絡船で釜山に來り西町に人の世話する親切者あれば幵が家にて暫時休憩し居ると恰ど幸ひ程能き奉公口あれば今日より直ぐに行くが好からんとの言葉に其はと許り二ツ返辭正突此の親切な人の言ことに虛僞のあるべき筈なしと初見參せるは富平町の淫賣屋喜樂亭なりしが其後同家には政に淫賣を勸めて已まざるより斯うもウルサい內に居る要なしとて飛び出さんとすれば聯絡船の貸船が三等十二圓とかにて其の前借を拂はねばとの事なれど妾シや開んなれ金借りた覺ねはありませねば相當た扱けそと眼の緣腫らして警察署に願ひ出でたりとは身に犯したる罪とは云へ眞に不憫の者共なり

●**握擧者餘罪發覺** 本月二十日の紙上に金は拂ずにキンを握ると題し福岡縣人當時旭町一丁目百六十七番戸建築請負業遠藤孝兵衛(三九)が請負工事に使役したる大工の給料支拂ず催促人に對し亂暴して檢事局に送られし事は既報の通りなるが遠藤は不埒にも家主大村保太氏が曩きに慶福宮内溫突建物を買ひ受けしに付旭町に家屋を構造せんとて其の運搬を大村氏は遠藤に依頼せしに遠藤は材木の內より代價四圓に相當するものを窃取したる事際見せし爲め同時に告發されたりと

●**喜多流の素謠會** 二十五日月曜日午後四時より晴雨を論せず旭町三丁目開遊亭に於て開會するよし委細は左の通り

賀茂(宮川氏末永氏藤村氏)通盛(道家氏伊藤氏上田氏城氏 杜若(吉野氏田村氏) 天皷(岡氏江口氏)曾我夜討(橫山氏則近氏藤田氏吉永氏)祝言、獨吟、仕舞

●**京城ホテルの展覽會** 畫家西澤直之氏は今回入京し來る三十日京城ホテルに於て繪畫展覽會を開催し尚は當日は珍奇なる諸畫を觀覽に供し會費五圓にて抽籤を以て頒つと

●●●●●**メソヂスト教會** 旭町二丁目名古屋城內同教會に於ては廿四日午前九時より日曜學校及び聖書研究午前十時半木原牧師の禮拜說教「聖靈の寛容」午後八時より同師の傳道說教「人性」あり

●**京城基督教會** 日の出町同教會にては廿四日午前九時より日曜學校同十時より米澤牧師の禮拜說教「肉性の靈化」右終つて洗禮晩餐の二大典執行午後八時より藤田文一君の「偉人と人格」松本雅太郎君の「偶感」あり 參聽隨意

▲**眼の色と性質**▼ 大きな眼の人は大小の事柄を凡て一樣に、且つ精密に觀察する力を有する▲小さい眼の人は極く微細の事柄を、敏速に觀測する力を持つて居る▲凹い眼の人は事物の觀察が精細で、且つ敏く確かでこれに關する印象を深く其の腦裡に留むる▲眼瞼で少し掩はれて居る眼は性質の鈍ひ人▲明きりした眼は操行の堅固、確實な人▲大きくて薄青い眼は平和を愛し▲青ひ樣な眼は精神的で、正直で愛情が深く自信があつて、進歩的な人物である▲褐色の眼は活氣ある性質の人▲灰色の眼は理屈がすきで文學を嗜み、決心が強くて功名心がさかんである▲灰黑色の眼は理性が強く、良心と信仰心に富み正直なもの▲榛樹色の眼は激昂し易いが頭腦明晰、穎敏で交際上手▲黑い眼は性慾盛んで不規律で心が落ち付かぬ▲綠色の眼は嫉妬心があるが勇氣と精力と自重心がある

目と耳

▲**歌舞伎座** 宮岡天外一座の奇術

▲**浪花館** 今回木戸場代金十錢均一となしたる同館の番組左の如し 荒尾秀丸(浪花松朝)澁川武勇傳(吉田樓葉)筑前騷動(吉川秀奴)幡隨院長兵衛(岡本伊之丸)いかるが平次の傳義士本傳通し(吉川秀廣)

▲**壽座** 喜劇曾我の家一座の代番組 御祝儀笑ひ顏(一場)美人局(三場)名花の水仙(二場)作戰計畫(三場)夕立(二場)二階十錢平場二十五錢均一

▲**平民文庫**▼

▲ナイスボロとは如何なるボロにて如何なる所に下れるものなりや(問答子)

▲喝破、ハチ柿色の厚き面の皮にて作りベソ柿色の汁にて染め上げシラン王國の木鐸に下げらるゝボロ〳〵のボロなり(小僧)▲何程金が澤山儲かるからと云ふて一丁目の郵便局近邊の店の如に爺は妻子のあるにも拘はらず藝者を連れて待合通ひをする店の者は長谷川町邊りの淫賣屋通ひをすると云ふ如な事をして居ては迚も長くは續くまい(夜店の一助)▲小僧君の御厚意有り難く存じ候へども小生は飯と女房は食はず嫌ひに候食はい終生忘るべからざる味を覺へ候やも計られず候へども幸か不幸か迚も〳〵夫れ丈の勇氣は起り不申候抑も小生が當地に來りたる遠因は女房は厭と駄々を捏ねたるに始まり候若し夫れ小生が母や兄弟の意見に從ひ居り候はゞ今頃は此れ父ちやんと縋られチート貴郎と甘へられつらんも斯樣な事は思ふだに身慄が致し候(總角生)▲總角生君の申し條は一種の婦人侮辱罪を構成する、此の舌の根を引き抜き女房は成程乙だ哩と歎化せしむる責任は繫りて京城美人連の双肩にあり、各淫努力奮闘せよ(三播)にて小僧▲統監府判檢事特別任用試驗は何時頃執行せらるゝや敢て請ふ記者の手を經て直接當局者の意向を訊さん事の勞を煩はされんことを希望に堪へず(ヨボ檢事)▲遲くなりまして濟みません、司法廳に問合はせたるに當分執行の見込みなしとのこと(係)▲昔は損と元價今は賣出しにて殿を建てんとにや此頃の吳服屋は賣出しに次ぐに賣出しを以てし盛に婦女子の購買心を挑發する買ふ婦人方も『子ー貴郎滯を買つて頂戴な賣出しですから浴衣を買つて頂戴な賣出しですからと賣手も買手も此賣出しを利用して頗る都合がよいが唯獨り詰らぬのは亭主殿である(はの字)▲貴社の隣り日の出樓上に陣取つて居る菊枝の情夫何川と云ふ男は代書人上りで水原邊では彼れを毛虫の如く嫌つて居ますが近頃はエライ引籠つて居るのが不思議だ(黑川生)

今日の運勢

七月廿四日舊六月十七日 四綠陽滅庚寅危中伏△一白 礦業及金屬業に吉爭葛藤の端を惹起し易し△二黑 妄言に罹り易し取引賣買貸借尤も注意すべし新事見合せの事△三碧 模樣替其他更改の事見合すべし音信異事を報するあらん△四綠 齟齬見込違多し新事賣買貸借取引控へ目の事△五黃 盜害酒色の害を戒しむ金品授受故障あり△六白 新事及更改の事見合すべし會見委囑請願には吉△七赤 頽勢の日婚談共同組合及新事見合せの事負傷衞生注意すべし△八白 盜害酒色の害を戒しむ新事及婚談共同組合の事見合すべし△九紫 福利增進の日利益を得又は便宜を得る事あり證券の事注意

七月廿五日舊六月十八日三碧大安辛卯成△一白 金屬及礦業に吉旅行運送注意すべし△二黑 齟齬及過失生せん新事賣買取引貸借控へ目の事負傷防ぐべし△三碧 訴事紛糾の難あり新事旅行見合せの事△四綠 婚談委囑團体組合の事に吉其他平凡△五黃 散亂に終らんとす新事及婚談賣買貸借注意すべし△六白 新事及旅行見合すべし遺船水利金融の業に吉△七赤 建築土木に吉△八白 徒勞多し諸事控へ目の事決算證券の故障あり△九紫 不和爭論避くべし其他大抵吉(三一館斷)

京城居留民團公文

京城居留民團規則第三號

京城居留民團助役及書記定員ニ關スル規程左記ノ通之ヲ定メ明治四十三年七月五日ヨリ施行ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年七月二十二日

京城居留民團民長　古城　菅堂

京城居留民團助役及書記定員ニ關スル規程

第一條　京城居留民團助役及書記ノ定員左ノ通リ定ム

一、助役　二人

一、書記　二十五人

第二條　明治三十九年十二月京城居留民團規則第四號京城居留民團書記定員ニ關スル規程ハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

京城居留民團規則第四號

京城居留民會々議規則中左記ノ通リ改正ノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年七月廿二日

京城居留民團民長　古城　菅堂

一、京城居留民會々議規則第二條中午後四時トアルヲ午後一時ト改ム

京城居留民團告示第二十八號

當民團吏員出張所ヲ龍山ニ移シ京城居留民團役所龍山出張所ト改稱シ其位置區域ヲ左記ノ通定ムルノ件居留民會ノ決議ヲ經理事官ノ認可ヲ得タリ

明治四十三年七月廿二日

京城居留民團民長　古城　菅堂

一、位置　龍山老松町

一、區域　揚火鍋ヨリ西江孔德里ニ至ル[illegible]

廣告

公告

一、平壤鎭南浦間第四拾七號橋梁設工事

右八月一日正午十二時入札ニ附ス

隆熙四年七月廿日　內部土木局

美術半襟帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目
電話一千四百〇九番

ゑり徳商店

美しく生れたる人

誰か其の美を擁護せざらん

クラブ洗粉
クラブ白粉
クラブ齒磨を用ひて

美しく生れざる人

誰か其の美を工夫せざらん

クラブ洗粉
クラブ白粉
クラブ齒磨を用ひて

意を用ゆる深からずば
早く生來の美を失はん

深く意を用ゆる人は常に

クラブ洗粉
クラブ白粉
クラブ齒磨を愛用す

祝開店七週年大賣出し

弊店儀開業以來大方各位の御引立に預り日増隆盛に相成難有仕合に奉存候就ては聊か御禮の印として特別の安價を以て販賣仕候間不相變多少に不拘御用命仰付被下度奉願上候

美術、書畫、襖、壁、天井張、

表具師 桂

京城壽町一丁目
桂萬吉
（電話六二七番）

同岡崎町（矢島鐵工所筋向）
桂龍山支店
（電話架設中）

金錢貸借電話讓渡
土地家屋老舖賣買
人事百般其他

周旋業

京城明治町二丁目勸商場前（電話一二九八）

明治屋

移轉御披露

美術寫眞入煙草

TSUKISEKAI

弊店發賣の烟草月世界は當地開業以來日尚淺きに關はらず各位の御好評を多大なる御引立に博し候まゝ左記に移轉致し一層品質を精撰し賣價格低廉に販仕候間多少に不拘御用命仰付被下度願上候

京城古市町（税關前）
大石商會出張所

自午前八時
至午後九時

京城相生町南門湯横（電話一二九四番）

京城梅毒病院

●花柳病專門附、痔疾一般
●入院隨意●

院長　醫學得業士　蘆田耕平

ビヤホール

氷アイスクリーム
◎登呂呂汁（御麥の御飯）
◎和洋會席御料理（御手輕主義）

旭町一丁目
度支部官舍下隣

松風軒

旅館

京城南山町三丁目

京城ホテル

電話長一二三番
四九一番

日本室和食
特等（三圓五十錢）
一等（二圓一圓五十錢）
二等（一圓八十錢）
三等（一圓五十錢）

紙と印刷

諸紙
和洋帳簿
印刷
各種製本

諸官衙御用

播本（ハリモト）商店

京城本町六丁目
電話百拾番

夏季講習會員募集

●造花、ミシン縫

八月一日より三週間講習委細は來校の上承合せらるべし

京城旭町一丁目

京城女子技藝學校

夏の和樂園

御料理
席貸

高田家

電九三七

不相變御引立之程乞

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

中島醫院

院主　醫學得業士　中島貞信

入院隨意

京城西小門通六番戶

菅醫院

電話一三一五番

京城曙町（電話二八七番）

統監府御用
宮內府御用
軸物表裝
金銀屏風
額面襖
壁張

石川表具

一鴨綠江松材現木

長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄

右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候

建築業　柴田芝六

京城旭町三丁目（電話五六八番）

表具部開業

襖額屏風天井壁張及表裝一切並諸の需用に應す

旭町三丁目三日月湯隣

柴田表具部

主任　網島久雄
眞光小太郎
（電話五六八）

資本金　一千萬圓
積立金　五百四十萬圓

株式會社第一銀行京城支店

電話一一番　六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店　東京市日本橋區兜町

支店及出張所　大坂、京都、横濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大坂町（東京）、兵庫、伏見、西區（大阪）、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之

御待合　紅葉

南大門通三丁目光宣門側

電話一三八二番

六月一日ヨリ
岐阜提灯賣出し

利益なし元價の
一張二十五錢

東京足袋

本店東京
京城大和町一丁目
（日の出橋際）

大和屋
藤井出張店

電話二百〇五番

明治町勸商場內ニモ出張店アリ

正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

發賣販賣

東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山韓國合名會社本店出張特約

藤田合名會社

諸官衙御用

本社　京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所　東京橋南鐵道新橋三十番地一町六丁目二九

大上（商標）萬

特約販賣
味噌醬油製造元
漬物問屋

京城本町五丁目

大上商店

（電話二五一番）

自製
新茶
ビール
大賣出し